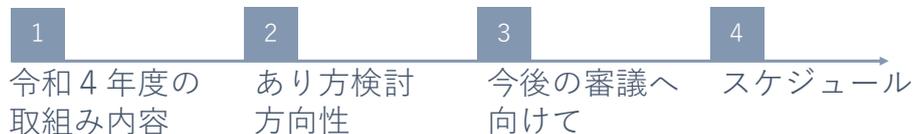


新たな都市デザインあり方検討について (審議)

都市整備局都市デザイン室

令和5年5月26日
都市美対策審議会説明資料

本日の説明内容



1 令和4年度の取組み内容

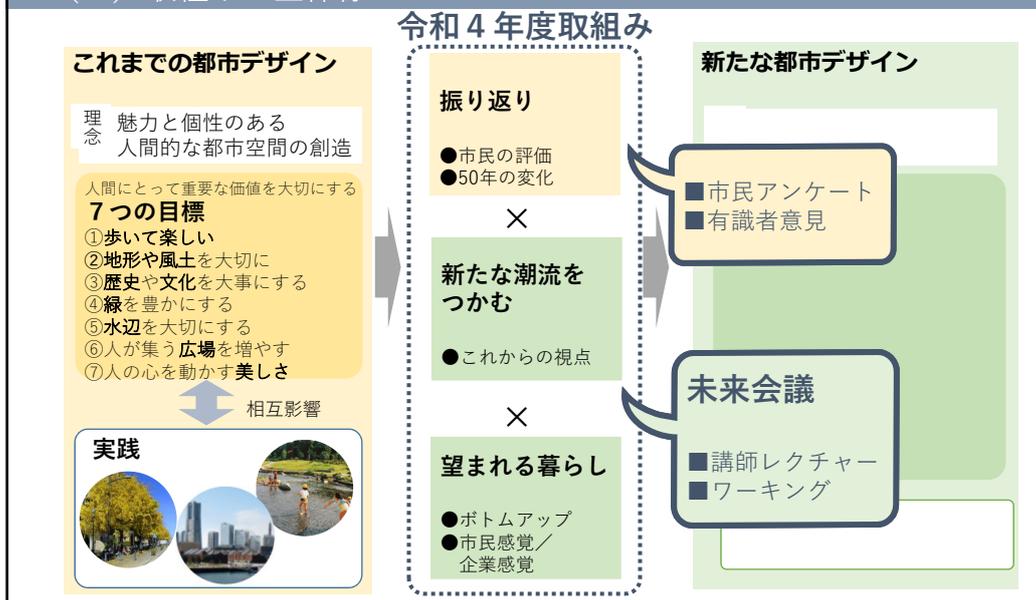
1

2

3

4

(1) 取組みの全体像



1 令和4年度の取組み内容

1

2

3

4

(2) 50年の取組みへの評価・期待と今後50年へ向けて

■50年間の取組みの評価・期待

- ①横浜の魅力的な風景を創ってきた都市デザインへの高評価
歩いて楽しいまちづくり／歴史を生かしたまちづくり／水と緑の軸の形成
⇒特に都心部の景観に対する高い評価
- ②都心部だけでなく全横浜で都市デザインを展開することへの期待
- ③意欲の高い人が都市デザインに参加しやすくするための環境づくりに期待
- ④庁内外の体制構築と、都市デザイン室の役割を再整理することへの期待

分析の
対象

市民の評価	令和4年度 ヨコハマアンケート【1,821名】 都市デザイン横浜展 来場者アンケート【487名】
有識者／ 経験者の見解	都市デザイン横浜「カタログ」への有識者寄稿内容等【38名】 都市デザイン室OBへのヒアリング【4名】

1 令和4年度の取組み内容

1

2

3

4

(3) 未来会議 > 目的/参加者

- 社会や横浜の状況の変化を捉え、新たな潮流をつかむ
- 横浜での暮らし全般の観点からも個性と魅力あるまちづくりについての幅広いアイデアを共有する

【参加者】 平均年齢：約38才

横浜市職員16名

(区役所、港湾局、建築局、医療局、市民局、環境創造局、道路局)

大学生5名

会社員12名

自営業4名

市民団体その他2名



1 令和4年度の取組み内容

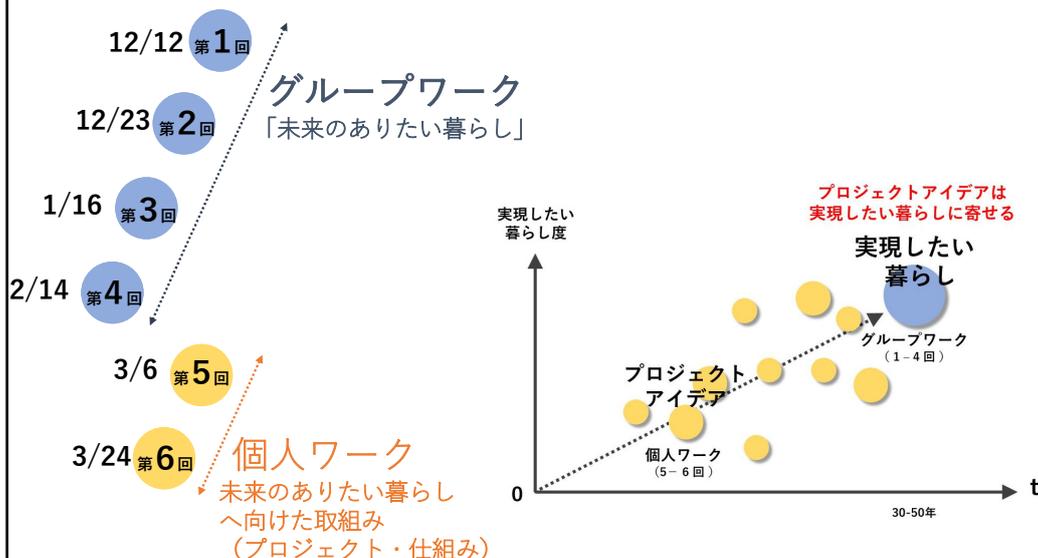
1

2

3

4

(3) 未来会議 > プログラム



1 令和4年度の取組み内容

1

2

3

4

(3) 未来会議 > 得られた示唆

新たな潮流 ～講師のレクチャーから～

都市デザインとは、**大きなビジョンと小さな行動の調停**。

都市デザインにも、**子育て・ケア・福祉、ダイバーシティの視点**が必要。

流域治水等の**俯瞰的な計画と部分での活動の一貫的なつながり**を大切に。

官民連携でのサービス構築に向けた「**準公共分野**」の**考え方**を考慮する。

リニアが通らない横浜にこそ、次の世代の横浜の海の価値など、**ローカルアイデンティティを突き詰めることは大事**。

リモートワークを経験したが、郊外の見方が変わるような**近隣に根差した都市生活**を生み出していないか。

民主導のボトムアップでつくる、**ウェルビーイング×イノベーション**の考え方。

横浜国立大学
野原卓先生

横浜国立大学
三輪律江先生

水辺総研
滝澤恭平氏

ソーシャルX
伊藤大貴氏

東京大学
羽藤英二先生

東京都市大学
坂倉杏介先生

1 令和4年度の取組み内容

1

2

3

4

(3) 未来会議 > 得られたアイデア

未来のありたい暮らし ～参加者のワーキングから～

- ハード整備における「**都市デザインの理念**」と「**7つの目標**」の**継承**は必要
「人間中心」を「**ヒューマンティ→パーソナリティ**」と捉え直す
- それぞれ**行動・活動をカスタマイズ**できる都市、他者の行動・活動と共有する場も重要
- 共創と主体的参加**による海との関わり方を通じて「**横浜らしさ**」の**価値**をアップデート
- 身近な自然を再評価**し、日常の暮らしに取り入れる
- それぞれの「好き」「得意」をいかした**魅力的な担い手の創出**と**コミュニティ形成**
デジタルをツールとして気軽にしてくれる**コミュニティ**と**リアルなコミュニティ**

グループ1
都市デザイン
横浜の
継承と革新

グループ2
都心部の
可能性

グループ3
海をひらく

グループ4
水と農と
緑のある
暮らし

グループ5
横浜の
コミュニティ
再生

1 令和4年度の取組み内容

1

2

3

4

(4) まとめ ～あり方検討へ向けて～

都市デザインの「50年間の振り返り」と「これからの50年後の未来」

■50年間の取組みの評価 今後へ向けた期待

- ①これまでの都市デザインへの**市民の高評価**
- ②**郊外部**も含めた都市デザインの展開への期待
- ③都市デザインに**参加**できる環境づくりへの期待
- ④庁内外の**体制**づくりや都市デザイン室の役割を再整理することへの期待

■未来会議から得られた 新たな潮流

- ①成熟の時代
- ②ニーズや価値観の**多様化**
(自然の価値の再評価、誰でも担い手になりうる新たなコミュニティ)
- ②**ハードを活かすソフトの重要性** (マネジメントの重要性)
- ③準公共分野における**官民共創**の拡大

■未来会議で描かれたこれからの 個々の【暮らし】実現に必要なこと

- ①**都市デザインの理念を継承しつつ、新たな潮流に対応**するため、固定観念にとらわれず挑戦していくこと
- ②**市内各地にデザインされた選択肢**を用意すること
- ③**市民・企業・行政**が同じ目線で都市をつくること
- ④**ボトムアップでイノベーション**をおこしながら、俯瞰的な計画を具体的に実現していくこと

「都市デザインの理念」とそれに向けた「戦略」をもって
あらゆる主体と共創で都市デザインを展開する重要性

2 新たな都市デザインあり方検討

1

2

3

4

(1) 検討の全体像

これまでの都市デザイン

理念 魅力と個性のある
人間的な都市空間の創造

人間にとって重要な価値を大切に

7つの目標

- ①歩いて楽しい
- ②地形や風土を大切に
- ③歴史や文化を大事にする
- ④緑を豊かにする
- ⑤水辺を大切に
- ⑥人が集う**広場**を増やす
- ⑦人の心を動かす**美しさ**

相互影響

実践



振り返り

- 市民の評価
- 50年の変化

×

新たな潮流をつかむ

- これからの視点

×

望まれる暮らし

- ボトムアップ
- 市民感覚/
企業感覚

令和5年度～

新たな都市デザイン

理念 魅力と個性のある
人間的な都市空間の創造

理念実現に向けた【戦略】
擁護すべき7つの価値
× **新たな視点**

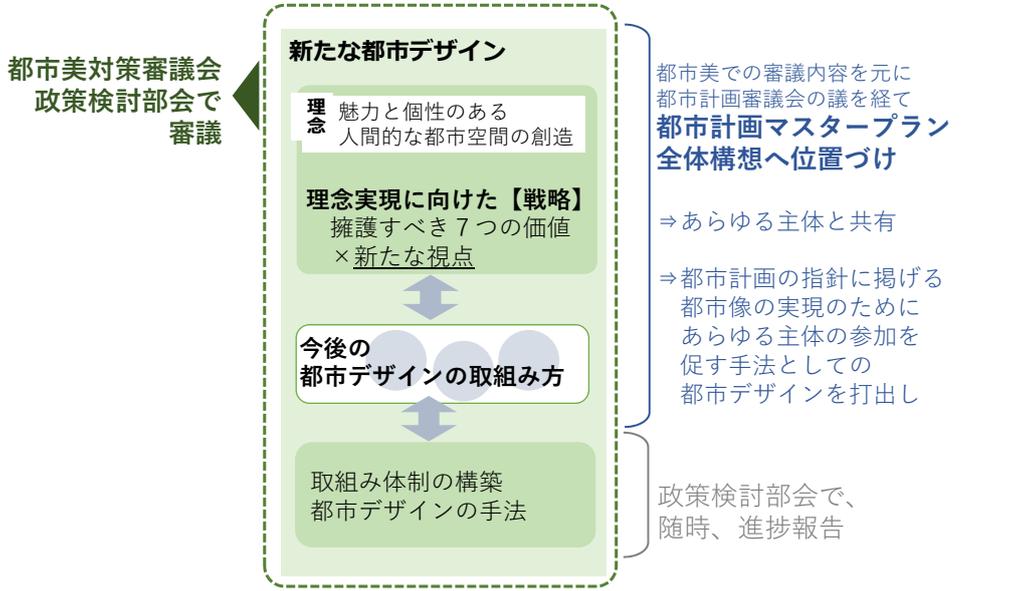
今後の具体的な取組み方

取組み体制の構築
(都市デザイン室の役割を含む)
都市デザインの**手法**の整理

3 今後の審議へ向けて

1 2 3 4

(2) 都市美での審議と都市マスへの位置づけ

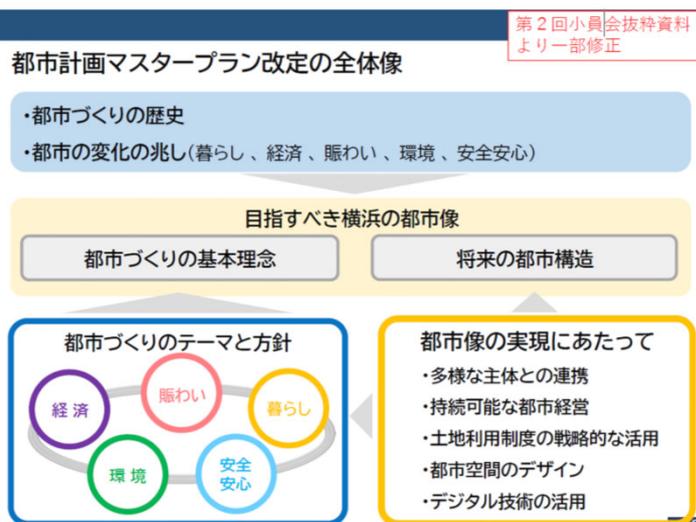


3 今後の審議へ向けて

1 2 3 4

(3) 都市計画マスタープラン改定の検討状況

○改定の基本的な考え方について、横浜市都市計画審議会に諮問し、審議会の中に小委員会を設けて検討中。



4 スケジュール

1

2

3

4

